演題番号 2	２週間毎にミニカンファレンスを行うことによる効果
発　表　者	公立みつぎ総合病院　介護福祉士　久田　真希
共同発表者	内田　敦史，藤井　絵梨香，佐藤　暢子，森数　充代

回復期リハビリテーション病棟は，集中的にリハビリを行い，ADLの改善，在宅復帰を目指している。2016年度の診療報酬改定で実績指数が導入され，在棟日数の短縮が求められている。当病棟では，在棟日数の短縮が求められている事により，担当者が行うミニカンファレンスは入院当初のみで，チームとしての評価や修正が不十分で，退院前に患者の状態と家族の意向に差が生じ，入院期間が延長する事例があった。そこで，担当者はミニカンファレンスを２週間毎に実施し，患者の状態や家族の意向，予後予測を踏まえた目標設定，各職種の具体的な役割をフォーマットに記載，可視化し，どのような効果があったか報告する。

MEMO